

学び合い、ひろがる にほんご人の輪

国際交流基金マニラ日本文化センター
蛭田 恭代

私は 2022 年 6 月にマニラ日本文化センター（以下、JFM）に日本語指導助手して派遣され、にほんご人サポートチーム（以下、NS チーム）に所属しています。NS チームは、にほんごフィエスタなどの学習者奨励イベントや、『まるごと』講座、教師向けワークショップなどを行い、一般学習者・教師の支援をしています。また、他チームの研修からオフィスの IT 関連のサポートまで、幅広い業務に携わっています。これまで業務を通じて、たくさんのにほんご人と出会ってきました。

フィリピンのにほんご人の多様性

フィリピンのにほんご人と聞いてどんな人たちを思い浮かべますか。
日本で働くために日本語を習得しようとしている人たちや、教育機関で日本語の授業を受けている学生たちだけでしょうか？

最近ではフィリピンでも趣味や生涯教育として自分のために日本語を学習している人たちが増えてきました。彼らもまた、にほんご人です。目標・目的は違っても「日本語を使って何かをしたい」「何かを理解するために日本語を使いたい」と思っている人がたくさんいます。

学び合いの場「おしゃべりサロン」

NS チームは月に 1 回を目標に「おしゃべりサロン」を実施しています。興味があるトピックについて、ほかの参加者と日本語で会話を練習する機会を提供しています。このサロンには、中学生から参加でき、にほんご人であればフィリピン国外からの参加もできます。地理上の問題や都市部の渋滞の影響で対面参加が難しい人が多いことから、主にオンラインで行っています。対面で行う際はトピックに関連した文化体験も取り入れるようにしています。（例：トピック『今年の漢字』

+ 文化体験：書道）

こういったサロンは日本人と日本語で話すことを目的とすることが多いですが、私たちはフィリピンの島々に点在しているにほんご人をつなぎ、学び合う時間を作ることを目的にしています。

にほんご人は話しながら学び合う。運営チームは「どのように日本語を安心して話せる場をつくっていくか」考える。私もおしゃべりサロンからたくさん学んでいます。



おしゃべりサロンの様子『今年の漢字』

コミュニティを広げるにほんご人との出会い

「今、一緒に勉強しています。得意なことを教え合っているんです。」「お互いが学習のパートナーであり、リソースであり、目標です。」おしゃべりサロンでこう語ってくれた人たちがいました。彼らは2023年2月に行われたにほんごフィエスタで出会い、JFMのイベントやオンラインコミュニティなどで交流を続けています。そして、友達の輪を広げるように自然ににほんご人コミュニティを広げています。そのコミュニティの中にはスピーチコンテストに参加し、切磋琢磨する姿を見せてくれる人もいました。おしゃべりサロンの「常連さん」として場を盛り上げ、初めて参加する仲間のサポートもしてくれる人もいます。JFMのイベントに周囲のにほんご人をさそってくれる人もいます。

最近、にほんご人の世界を広げる手伝いをしていると感じ始めました。このような視点で日本語教育を捉えられるようになったのはこの2年間での大きな成長だと思っています。JFMで様々なにほんご人と出会い、専門家の方々と仕事をしていくうちに、日本語を学ぶことの先に日本語を通して新たなものと出会い「広がっていく世界」があるのだと気づくことができました。そして、その世界の一部になれることが日本語指導助手の魅力なのかもしれません。

任期終了まで残りわずかになりました。成長のきっかけを与えてくれた感謝の気持ちを忘れず、にほんご人の支援を行っていきたいと思います。



おしゃべりサロンで“常連”のみなさんと『食べ物』

以上